

CASBEE-建築(新築)2014年版

(仮称)関西ビジネスセンター

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.33			3.2
1 音環境		3.2	0.15			3.2
1.1 騒音		3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音	事務エリア: 床及び天井に吸音材を使用	4.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38			
2 外皮性能		3.0	0.25			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.1	0.25			3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00			
3.3 照度	全般照明方式で照度が750Lx	4.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		3.6	0.25			3.6
4.1 発生源対策		3.4	0.50			
1 化学汚染物質	内装材F☆☆☆☆の全面的採用	3.4	1.00			
2 アスベスト対策						
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量	事務エリア: 30CMH/人を確保	3.2	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視	事務エリア: 換気量のCO ₂ 制御	5.0	0.50			
2 喫煙の制御	事務エリア: 喫煙室の確保・空気清浄器の設置	5.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.8
1 機能性		3.8	0.40			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.6	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応	OAコンセント容量50VA/㎡、各階へのGigabit通信回線の引込み	5.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30			
1 広さ感・景観	執務スペース天井高さ2.8m~3.0m	4.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース+自販機の設置	5.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
1.3 維持管理		4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計	外装仕上: 防汚性の高い外壁、外装設計: 外部金属部の防錆処理	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保	十分なスペースの清掃員控室、SKの適正配置、十分な廃棄物置場	4.0	0.50			
3 衛生管理業務						
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30			3.4
2.1 耐震・免震		3.0	0.50			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁塗装: フッ素樹脂塗装25年	4.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ダクト材料の長寿命化	5.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	配管材料の長寿命化	3.8	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.8	0.20			

2.4 信頼性			4.4	0.20			
1	空調・換気設備	熱源種の分散化、バックアップ、空調配管の二重化	5.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用、中水利用、受水槽の分離設置	4.1	0.20			
3	電気設備	非常用発電・無停電電源設備・受電設備二重化・異変電所からの引	5.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	通信手段多様化・引込み多ルート化・精密機器の浸水対策・無停電電	5.0	0.20			
3 対応性・更新性			4.1	0.30			4.1
3.1 空間のゆとり			4.3	0.30			
1	階高のゆとり	階高3.95m~8.0m	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	事務エリア:壁長さ比率=0.15	3.3	0.40			
3.2 荷重のゆとり		事務エリア:4900N/m ² 確保	4.1	0.30	3.0		
3.3 設備の更新性			4.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新可能	5.0	0.10			
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新可能	5.0	0.10			
5	設備機器の更新性	設備機器搬出入ルートの確保	5.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備の為のスペース確保	4.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.37			3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物形状、植栽計画によるまちなみへの調和、既存樹木の保存	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.8
LR1 エネルギー			-	0.40			4.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.81	4.8	0.06			4.8
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.71 住宅(専有部) 0.83	4.9	0.59			4.9
集合住宅以外の評価(3a,3b)		BEI=0.71	4.9	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
4 効率的運用			4.8	0.24			4.8
集合住宅以外の評価			4.8	1.00			
4.1	モニタリング	運用時の評価値を各機器より取得	4.7	0.50			
4.2	運用管理体制	コミショニングツールの導入	5.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-			
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.2
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		節水コマ、省水型機器の導入	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.1	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無	C棟・事務エリア:中水利用	3.5	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60			3.2
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		陶磁器質タイル(WC壁)、岩綿吸音板(天井)	3.3	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上の分別可能、再利用可能なユニット部材の採用	3.6	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20			3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70			
1	消火剤	不活性ガス消火(N2ガス消火)システムを導入	4.0	0.33			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		CO2排出量を参照値の約75%に抑制	3.9	0.33			3.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場、駐輪場、荷捌駐車場の確保	4.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			